

委員名	中嶋 秀一
-----	-------

委員会行政視察報告書

委員会名	議会改革特別委員会			
活 動 委 員 名				
中嶋 秀一 委員長		堰野端 展雄 副委員長		山端 博 委員
山田 洋子 委員		太田 正幸 委員		山端 美樹子 委員
中尾 利香 委員		江渡 信貴 委員		
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料等	3 議長交際費	一人当りの費用	
583,906		7,976	73,985	591,882
期 間 (年月日)	令和6年11月5日（火） ～ 令和6年11月7日（木） （2泊3日）			
視察事項	・愛知県一宮市 「議会改革の取り組みについて」			
	・三重県伊勢市 「議会改革の取り組みについて」			
視察先	愛知県一宮市、三重県伊勢市			
内容及び成果				
愛知県一宮市 「議会改革の取り組みについて」				
① 一般質問におけるモニターの活用について 一宮市では平成26年新庁舎完成に合わせてスクリーンと議場運営システムが導入され、質問席でPCやタブレットを活用し資料を投影するようになりました。全議員中6割の方がPC等を活用しています。このモニター活用については十和田市議会でも前向きに検討するべきと考えます。				
② 議会における災害等への対応 一宮市議会災害時行動基準が平成28年12月に制定、一宮市議会感染症拡大時行動基準が令和3年12月に制定されています。これまでに災害等への対応事例はないとのこと。 十和田市でも早急に議会としての災害時対応マニュアルが必要と考えます。				
③ 傍聴環境の整備・・・平成26年新庁舎建設に合わせ軽度難聴者用補聴器の貸し出しを開始。				
④ 会議映像の配信は会議内容を音声認識リアルタイムでモニターに表示する音声認識システムを導入。この音声認識システムは会議中の声を拾う機器です。実際に発言から映し出されるまでの流れを似て本当に素晴らしいものと思いました。難聴の方には喜ばれます。予算を確保し十和田市でも導入を目指したいと思います。				
三重県伊勢市「議会改革の取り組みについて」				
① 議会の在り方調査特別委員会について 議会の在り方調査特別委員会は令和3年から政策等検討分科会、広報広聴検討分科会、議会ICT検討分科会に分かれ、それぞれの分科会で議会改革に取り組んでいます。				

・政策等検討分科会では、政策立案・政策提言、予算・決算審査の在り方、議会基本条例の検証・改正、事務局体制の強化充実、その他議会改革に関することなど。

・広報広聴検討分科会では、市議会だより、高校生議会、議会報告会、意見交換会、議会アンケート、議会放送、その他広報広聴に関することなど。

・議会 ICT 検討分科会では、ペーパーレス化、オンライン会議、SNS・ホームページ、議会のデジタルデバйд対策、その他議会 ICT に関することとなっています。

② 伊勢市高校生議会は令和元年度から実施。令和 6 年 8 月 7 日に第 4 回高校生議会を開催。準備期間から当日までの細かい様子を伺いました。高校生に主権者教育として模擬議会を体験する取り組みは政治への関心へもつながり、生徒にとってもいい経験になるのではないのでしょうか。

③ 議会 BCP については、大規模災害が発生した時に議会として機能を停止することなく議会運営を行うことが求められるのでマニュアルを作っていくことが大事です。他自治体の取り組みを参考に十和田市でも早急に作成するべきものと考えます。

④ オンライン会議。伊勢市ではオンライン会議を進めるために接続テストや、アンケートを実施。苦手・わからないと答えた議員には議会事務局がサポートとしているとのこと。

令和 5 年 2 月には委員会・協議会でそれぞれ 1 回の実績もあり、どうゆう場合にオンライン会議を開くか検討中。

十和田市でも検討している最中なので、他自治体の取り組みを参考にしてみたいと思います。

今回もいい勉強をさせていただきました。

感謝いたします。ありがとうございました。

委員名	堰野端 展雄
-----	--------

委員会行政視察報告書

委員会名	議会改革特別委員会			
活 動 委 員 名				
中嶋 秀一 委員長		堰野端 展雄 副委員長		山端 美樹子 委員
太田 正幸 委員		山田 洋子 委員		中尾 利香 委員
山端 博 委員		江渡 信貴 委員		
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料等	3 議長交際費	一人当りの費用	
583,906		7,976	73,985	591,882
期 間 (年月日)	令和6年11月5日（火） ～ 令和6年11月7日（木） （2泊3日）			
視察事項	・ 愛知県一宮市議会 「議会改革の取組について」			
	・ 三重県伊勢市議会 「議会改革の取組について」			
視察先	愛知県一宮市議会、三重県伊勢市議会			
内容及び成果				
一宮市議会 一般質問におけるモニターの活用について 200 インチの巨大なモニターなので、資料の見やすさは議員、傍聴者には好評のようで、質問事態も分かりやすくなり、約6割強の議員が使用しているとのことで導入効果はあったようだ。ただし、ライブ中継をしながら資料の投影操作を議員自らが出来なく、事務局で切り替えるしかないないというのが今後の課題だそうで、それをクリア出来ればより分かりやすく、使いやすいシステムであると感じた。 議会における災害等への対応について 一宮市議会では、議会基本条例に基づき、H28 年 12 月に災害時行動基準を策定し、R3 年 12 月に新型コロナウイルス感染症に対応するため、さらに感染症拡大時行動基準を策定したとのこと。ただし、これは行動基準であって、詳細（自身の安否確認や連絡方法、対策会議の設置場所等）な決めごとが無いため、今後策定しなければならないとしていた。BCP はかなりしっかりとしたものとなるが、こうした行動基準でも詳細を同時に決められれば、災害等に対応できるものと感じた。 会議映像の配信について 当市と同じくユーチューブで配信しているが、委員会も配信しているとのこと。ここのところは当市でも早期に取り組むべきであると感じた。				

傍聴環境の整備について

議会基本条例の「開かれた議会」構築のため、H26 年より軽度難聴者用補聴器の貸出をしているということで、傍聴者に寄り添っている議会であると感じた。また本年 9 月より、会議内容を音声認識し、リアルタイムでモニターに表示する音声認識システムを導入したとのこと。政治用語や個人名、地名など誤表記もあるが、AI が搭載されており、学習機能があるため今後、使用頻度があがれば誤表記も少なくなりそうとのこと。なかなかユニークな取り組みであり、今後も注目しておきたいと感じた。

伊勢市議会

議会改革の取り組みにつて

伊勢市議会では、市民に開かれた議会を目指すとともに、議会活動を広く理解してもらえよう、議会の活性化に取り組んでおり、その取り組み及び主催者教育の一環として未来を担う高校生を対象に模擬議会を体験することにより、市政や議会など政治に関心を深めてもらうことを目的に高校生議会を開催している。特徴としては議員が市職員役をになっていて、これまで 4 回開催し、参加者からは「とてもよかった」という非常に好評なようで、当市においても実施に向け検討したい。

議会 BCP にいて

伊勢市議会では、R 元年 10 月に議会 BCP を策定し、その後年 2 回の防災訓練も行っているようであるが、それでも実際の災害時に議員としてどう動くべきかの意識が薄れていると感じているようで、議会 BCP への意識の高さがうかがえた。ただし、こればかりはしょっちゅう災害が発生しても困るので、難しい課題と感じた。

オンライン会議について

委員会に置いて、委員全員による接続テストを実施され、コロナ禍では実際にひとりの委員がオンラインでの参加があったようだ。運用方法の詳細はしっかりと定めなければならないだろうが、まずはテストを行いながら、問題点を見つけ出し、改善していく方法が良いのではと感じた。また、今後、参考人等もオンラインの対象とするべきか検討したいとしていたが、大賛成である。当市においても検討するべきと思われた。

委員名	山端 美樹子
-----	--------

委員会行政視察報告書

委員会名	議会改革特別委員会			
活 動 委 員 名				
中嶋 秀一 委員長		堰野端 展雄 副委員長		山端 美樹子 委員
太田 正幸 委員		山田 洋子 委員		中尾 利香 委員
山端 博 委員		江渡 信貴 委員		
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料等	3 議長交際費	一人当りの費用	
583,906		7,976	73,985	591,882
期 間 (年月日)	令和6年11月5日（火） ～ 令和6年11月7日（木） （2泊3日）			
視察事項	・愛知県一宮市議会 「議会改革の取組について」			
	・三重県伊勢市議会 「議会改革の取組について」			
視察先	愛知県一宮市議会、三重県伊勢市議会			
内容及び成果				
【議会改革の取組について】愛知県一宮市議会				
(1) 一般質問におけるモニターの活用について				
① 取組に至った経緯は。				
平成26年新庁舎完成にあわせてスクリーンと議場運営システムが導入。これにより、質問席でPCやタブレットを外部入力端子に接続することで資料等の投影が可能となり、平成26年6月定例会より使用を開始。				
② 取組の概要と活用状況は。				
概要については①と同じ。使用状況については、一般質問を行う議員のうち約6割が使用				
③ 議員が使用するにあたっての議会運営上の手順は。				
一般質問の際に、モニターに資料等の投影を希望する場合は、通告表のPC使用欄にチェックを入れて提出。その後、一般質問の前に資料の写り方や内容チェックのための試写を実施。この時、資料や写真等の著作権や肖像権の許可についてもチェック。一般質問の次の資料を投影する等の操作は、議員自身で行う。				
④ 会議録へはどのように掲載しているのか。				
モニターに投影する資料等は会議録に掲載していない。				
⑤ 課題と今後の展開は。				
モニターには、通常会議の様子が投影されており、一般質問の際に資料や写真等を投影する際の画面選択は、議場スタジオ内で議員が行っている。しかし、そのタイミングは一般質問を行っている議員に口頭で毎回言うてもらうことで行っている。これを議員自らの操作で画面選択ができないか検討中。				

(2) 議会における災害等への対応について

① 計画等の策定状況と策定に至った経緯は。

- ・一宮市議会災害時行動基準（平成 28 年 12 月制定）
- ・一宮市議会感染症拡大時行動基準（令和 3 年 12 月制定）

一宮市議会基本条例の制定に伴い、その第 5 条第 2 項において行動基準を定めるものとしている。また、この行動基準は、自然災害を前提としているため、新型コロナのような感染症に対する行動基準制定の必要性が会派から上がった。

② 計画の概要は。

市内において大規模な自然災害や人的災害等不測の事態、重大で広範囲にわたる感染症が発生したときに、議会や議員の行動基準を定めるもの。

③ 計画において議会と市はどのような関係性なのか。

災害時行動基準（第 5 条）及び感染症拡大時行動基準（第 5 条）には、市当局が災害対応及び感染症対応に全力で専念できるよう必要な協力をし、支援体制を構築することとなっている。

④ 災害時への対応事例について

現在のところなし

⑤ 課題と今後の展開は。

災害時において自身の安否等の連絡方法や災害対策会議の場所等、詳細を今後詰めていく必要がある。

(3) 会議映像の配信について

① 取組に至った経緯と取組の概要は。

平成 26 年新庁舎完成にあわせて議場の放送設備が一新され、さらに議場運営システムが導入されたことにより映像配信の環境が整ったことが大きな要因と考える。

② 整備に要した費用は。

新庁舎建設にあわせて放送設備等や議場運営システムを導入しているため費用は不明。なお、年間保守点検委託として 2,475,000 円。

③ 配信に当たり工夫している点は。

インターネットでの本会議及び委員会ライブ中継については、ユーチューブにて職員で配信しているため費用はかからない。また、ケーブルテレビでの配信についても費用負担なしで放送。

④ 課題と今後の展開は。

インターネットでのライブ中継について、現時点ではユーチューブの利用料は無料だが、今後、利用料が発生した場合の対応や配信作業を職員で行っているため、機器トラブルが発生したときの対応が課題。

(4) 傍聴環境の整備について

① 取組に至った経緯と取組の概要は。（予定）

- ・平成 26 年新庁舎建設にあわせて軽度難聴者用補聴器の貸出を開始
- ・会議内容を音声認識しリアルタイムにモニターに表示する音声認識システムを導入（令和 6 年 9 月）

② 整備に要した費用は。

- ・軽度難聴者用補聴器については不明
- ・音声認識システムについては、配線工事及びモニター等の備品購入費で合わせて約 300 万円。

【議会改革の取組について】三重県伊勢市議会

(1) 議会のあり方調査特別委員会とは（令和3年12月から）

■議会のあり方調査特別委員会（議長を除く全議員）

□企画調整部会（委員8人：特別委員会の正副委員長＋各分科会の正副会長）

◇政策等検討分科会（委員8人）

政策立案・政策提言、予算・決算審査のあり方、議会基本条例の検証・改正、事務局体制の強化充実、その他議会改革に関すること

◇公報広聴検討分科会（委員6人）

市議会だより、高校生議会、議会報告会、意見交換会、議会アンケート、議会放送、その他公報広聴に関すること

◇議会 ICT 検討分科会（委員8人）

ペーパーレス化、オンライン会議、SNS・ホームページ、議会のデジタルデバйд対策、その他議会 ICT に関すること

◇公報広聴検討分科会の主な取組

○高校生議会 ～ 令和元年度から実施、令和6年8月7日第4回高校生議会開催

○議会ツアー

○議会報告会・意見交換会

① 高校生議会 開催までの流れ

4月下旬 市内の高校へ参加依頼

5月下旬 募集締め切り（参加は任意）

6月上旬 参加決定及び質問内容の提出依頼

6月中旬 質問内容の提出締め切り

7月上旬 答弁内容を各校に事前提供

7月中旬 質問内容、答弁内容の確定

(2) 議会 BCP（業務継続計画）

平成28年6月 伊勢市議会大規模災害対応基本指針

令和元年10月 伊勢市議会業務継続計画（議会 BCP）制定

(3) 議会 ICT の特徴

使用ソフト（Google アカウントを全議員に付与）

有料のペーパーレス会議システムを使用せず、ペーパーレス化に取り組んでいる
デジタルデバйд対策として定例会ごとにタブレットの勉強会を実施している

■オンライン会議～令和5年2月8日総務対策委員会・同協議会をオンラインで実施
今後の課題

① オンライン委員が複数となった場合の実績がないこと。

⇒そうなった場合に備えて設備・運用の検証が必要

② 新型コロナウイルスが5類に移行されオンライン会議用ソフトを使う機会が減っている

⇒いざ、オンライン委員となったときにソフトを使えるか

(所感)

一宮市議会視察調査では、モニターの活用、議会 BCP 等を勉強させていただいた。当市では一般質問の際にモニターは使用しておらず、口頭で説明するよりも写真で提示したほうが伝わりやすいため大変勉強になった。モニター室では議場が見えず、毎回議員の口頭での指示がなければモニター画面の切り替えができないことも伺い、設計段階での調整も必要であることもお教えいただいた。ただし、議事録にはモニター画面に映ったものは表現されないため、口頭で補足説明していただいているとのことであった。また、資料や写真等の著作権や肖像権の許可については議員本人にとってもらい、一般質問の前に試写を行いチェックしていることも説明いただいた。

伊勢市議会調査視察では、当市では検討中の高校生議会とオンライン会議について活発な質疑応答をさせていただいた。高校生議会は9校あるなかから応募にて申し込みを受け付けており、9校すべての参加があったのは今年のみとのことである。当市においては市内の高校は3校であるため、応募制にした場合の参加率が懸念されるのではないかと推測した。また、オンライン会議の課題としては、参考人等も対象としたらどうかという意見があることを伺った。参考人も対象とすることで、例えば、遠方に在住する専門家などの意見も伺えることができることも考えられ、積極的に取り入れてもよいのではないかと考える。当市の今後の議会改革に活かしたい。

以上

委員名	太田 正幸
-----	-------

委員会行政視察報告書

委員会名	議会改革特別委員会			
活 動 委 員 名				
中嶋 秀一 委員長		堰野端 展雄 副委員長		山端 美樹子 委員
太田 正幸 委員		山田 洋子 委員		中尾 利香 委員
山端 博 委員		江渡 信貴 委員		
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料等	3 議長交際費	一人当りの費用	
583,906		7,976	73,985	591,882
期 間 (年月日)	令和6年11月5日（火） ～ 令和6年11月7日（木） （2泊3日）			
視察事項	・愛知県一宮市議会 「議会改革の取組について」			
	・三重県伊勢市議会 「議会改革の取組について」			
視察先	愛知県一宮市議会、三重県伊勢市議会			
内容及び成果				
・愛知県一宮市議会 「議会改革の取組について」 （令和6年11月6日（水）9：00～／一宮市役所議会第2委員会室）				
内容）				
1．一宮市による歓迎のあいさつ・一宮市の紹介				
2．議会改革の取組についての説明・質疑応答				
(1) 一般質問におけるモニターの活用について				
一宮市議会では、平成26年新庁舎完成にあわせてスクリーンと議場運営システムを導入し、質問席においてパソコンやタブレットをプロジェクターの外部入力端子に接続することで、議場の大型スクリーンへの資料の投影が可能となった。なお、一般質問議員の約6割が使用している。				
議会運営上の手順は、一般質問を通告する議員は、発言通告書中の「PC仕様欄」にチェックをして通告し、一般質問の前に資料の写り方や内容チェックを目的に試写を実施している。資料や写真等の著作権や肖像権は議員本人が確認することとし、一般質問時の操作は議員自身で操作している。投影する資料等は会議録へは掲載していない。				
課題としては、モニターには通常会議の様子が投影されており、一般質問の際に資料や写真等を投影する際の画面選択は、議場スタジオ内で職員が行っている。しかし、切り替えのタイミングは議員による口頭で行っていることから、今後議員自らの操作で画面選択できないか検討中であること。				
(2) 議会における災害等への対応				
経緯は、一宮市議会基本条例において行動基準を定めるものとしており、平成28年12月に災害時行動基準を制定、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い令和3年12月に感染症拡大時行動基準を制定している。				
計画における議会と市の関係性は、行動基準には市当局が災害対応及び感染症対応に全力で専				

念できるよう必要な協力をし、支援体制を構築することとしている。

これまで対応事例はないが、災害時における議員自身の安否等の連絡方法や災害対策会議の場所など詳細がまだ定まっていない点が課題であること。

(3) 会議映像の配信

平成 26 年の新庁舎完成にあわせて映像配信の環境が整った。平成 26 年 6 月から本会議ライブ中継開始、同年 12 月ケーブルテレビによる本会議ライブ中継開始、平成 30 年 3 月からインターネット委員会ライブ中継開始し、年間保守料約 250 万円、ユーチューブ配信とケーブルテレビ配信は費用が発生していないが、配信作業は職員が取り持つため機器トラブル発生時の対応が課題となっている。

(4) 傍聴環境の整備

平成 28 年の市議会基本条例制定により開かれた議会の構築に取り組むことと定められており、平成 26 年新庁舎建設にあわせて軽度難聴者用補聴器の貸し出しを開始し、令和 6 年 9 月から会議内容のリアルタイムでの音声認識システムを導入している。（音声認識システム設備工事費用は約 300 万円）

成果)

本市議会の視察では、4 項目について先進地の取り組みと課題を見出すことができた。特に議会における災害等への対応については、議会業務継続計画いわゆる「議会 B C P」の内容を網羅した「行動基準」を策定しており、私が本改革委員会において提言している通年議会を開催実現した場合においても活きるものであり、即時性があるものではないだろうか。

限られた議会事務局職員の中で、その業務をビルドビルドの現状をまずはスクラップビルドからの改革が必要ではないかと感じた視察だった。

・三重県伊勢市議会 「議会改革の取組について」

(令和 6 年 11 月 6 日 (水) 14 : 00 ~ / 伊勢市役所議会第 2 委員会室)

内容)

1. 伊勢市の紹介

2. 議会改革の取組についての説明・質疑応答

(1) 議会のあり方調査特別委員会について

平成 28 年 7 月まで議会改革特別委員会（政策立案、予算・決算の審査等）と議会だより発行委員会を設置していた。同月組織の再編により 2 つの委員会を「議会のあり方調査特別委員会」（以下「特別委員会」）として議長を除く全議員で構成した。

令和 3 年 12 月からの特別委員会の構成は、政策等検討分科会、広報広聴検討分科会、議会 I C T 検討分科会の 3 分科会を設置、特別委員会正副委員長及び各検討分科会の正副会長による企画調整部会を設置している。

(2) 伊勢市高校生議会

令和 6 年 8 月に 3 年ぶりに第 4 回高校生議会を開催し、市内 9 校 1 組 2 名 22 名が参加。高校生自らパネルや動画を作製し、議員が答弁する形式。

(3) 議会 B C P

議会業務継続計画（B C P : BusinessContinuityPlan）は、議会が災害などの緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、業務の継続や復旧を図るための計画であり、大規模災害等が発生したときにあつては、本来的な役割とは別に災害対策本部と連携し、被災者の救護及び市の災害復旧のため、非常の事態に即応した役割を果たし、また、議会の機能を停止することなく議会運営を行うことが求められている。

伊勢市議会では、議会及び議会事務局の「行動基準」をより明確にするため令和元年議会 B C P（主な項目は、想定災害、市議会災害対策会議、職務代行の順位、情報伝達、防災訓練、議場代替施設、継続的改善）を制定する。

防災服等を必要とするため「伊勢市議会議員防災服等貸与規程」の制定と防災訓練を実施。

今後の課題として、年1、2回の防災訓練では災害時に議員としてどう動くか意識が薄れる可能性があることと防災服等貸与品は各議員に任せているため万が一議会中に災害が発生した場合防災服等が無い状態で災害対応となること。

(4) オンライン会議

オンライン会議は、令和5年2月に実績（委員会、協議会各1回）があるが、以降機会がなくオンラインとなった場合にスムーズな運営ができるか。また、オンライン委員が複数となった場合実績がないことが課題となっている。

また、伊勢市議会ではGoogle アカウントを全議員に付与し、有料のペーパーレス会議を使用しないでペーパーレス化に取り組んでいる。

成果)

本市議会の視察では、議会BCPを含めた4項目についての取り組みと課題を確認することができた。特に議会BCPについては、愛知県一宮市議会での所感によるところであるが、高校生議会については、市内に存する高校数が多い点が成り立たせている。また、議会のあり方調査特別委員会は、単に議会を改革するという自発的なスタンスと違い、他者視点を意識したあり方という表現で委員会を設置し、全議員で構成している点では参考となるのではないか。議会ICTにおいては、有料のクラウドサービスを使用していない点は、当市議会においてもこれからでも間に合うのではないかと率直に感じた視察だった。

委員名	山田洋子
-----	------

委員会行政視察報告書

委員会名	議会改革特別委員会			
活 動 委 員 名				
中嶋 秀一 委員長		堰野端 展雄 副委員長		山端 美樹子 委員
太田 正幸 委員		山田 洋子 委員		中尾 利香 委員
山端 博 委員		江渡 信貴 委員		
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料等	3 議長交際費	一人当りの費用	
583,906		7,976	73,985	591,882
期 間 (年月日)	令和6年11月5日(火) ～ 令和6年11月7日(木) (2泊3日)			
視察事項	・愛知県一宮市議会 「議会改革の取組について」			
	・三重県伊勢市議会 「議会改革の取組について」			
視察先	愛知県一宮市議会、三重県伊勢市議会			
内容及び成果 ■愛知県一宮市議会 「議会改革の取組について」 議会改革の取組について以下の項目について行った ① 一般質問におけるモニターの活用 ② 議会における災害等への対応 ③ 傍聴環境の整備 ④ 会議映像の配信 愛知県一宮市議会における議会改革の取組みは、議員の質の向上にまた議会機能を強化し、議会の透明性を向上させる重要な施策であった。 1. 一般質問におけるモニターの活用が挙げられる。これにより、議員が提出する質問や関連資料を視覚的に示すことで、質問内容が明確になり、質問者の意図も真意も伝えやすくなった。傍聴者ももちろん議場にいる全員が内容をより深く理解できるよう促進することが可能となった。この取り組みは、質問の質の向上に寄与していると感じた。議会の活動を身近に感じさせる重要な要素であるとも考えられる。 ここで、ポイントと感じたことは著作権に対する対応であった。資料や画像の使用には著作権の確認が必須であり、それは議員自身がすべて行うことあり、事務局は議員に対し使用許可を取ったかどうか確認を行うという事ある。事務局負担が増えることが無いよう、許可や申請は議員自身が行うということである。				

○まとめ

－ 一般質問で資料を投影することが可能になり、質問内容や議論の焦点が明確になり、効果的な質疑応答が促進される。

- － 資料の投影希望の場合、通告表に PC 使用を記入し、事前に資料を提出する必要がある。
- － 資料の著作権や肖像権に配慮しつつ、議員自身が操作を行う。
- － 質問時に資料を視覚的に示すことで、他議員、理事者、傍聴者の理解が深まる。

2. 議会にまたおける災害への対応についても評価が高い。一宮市議会では、迅速かつ的確な情報発信を実現するためのシステムが構築されており、非常時における議会の役割を明確にしている。この点において、市民への安全情報の提供が円滑に行われることが期待される。

○まとめ

－ 平成 28 年 12 月に「一宮市災害時行動基準」を制定し、令和 3 年 12 月には「感染症対策行動基準」を制定。

- － 自然災害や感染症発生時における市当局の行動が明確に定義されている。
- － 災害時の安否確認や被害状況の把握、救援活動の迅速化を図るための体制が整備されている。
- － 災害時には、地域住民との連携を強化し、情報共有を迅速に行う。
- － 災害対策に関する訓練を定期的実施し、職員の対応力を向上させる。

3. 平成 26 年に新庁舎が完成し、傍聴者用の補聴器の貸出が開始された。また会議内容を音声表示する装置が導入され、傍聴者が快適に議会を見学できる環境が整えられている。

4. 会議映像の配信も重要な進展の一つである。議会の会議内容を録画し、インターネット上で配信することで、市民は自宅にいながらにして議会の議論にアクセスできるようになった。この透明性の確保は、議会への信頼感を向上させるための重要な手段である。

○まとめ

－ 配信内容の質を向上させるため、アプリ使用で話した内容が字幕で出るよう工夫されている。事前に市の施設等の固有名詞や人名、地名などを登録することで誤りが少ない様になっているが、AI の技術により以前よりも精度の高いものと感じた。方言や訛りにはやはり不十分だという話もあったが、字幕があることの利便性を考えると、早くから導入された意義は大きいと思う。技術が完全ではないうちから導入をしている柔軟さが、議会改革が進む一因ではないかと思う。

これらの取り組みは、一宮市議会の議会改革の具体的な成功例であり、他の地域でも参考になるかと思えます。特に、十和田市でも同じような取り組みが進むことで、市民との対話がもっと促進され、議会の役割がより明確になることが期待されます。市民の参加しやすい環境を整えることは、地方自治の健全な発展にとって欠かせないステップと言えらる。

■三重県伊勢市議会 「議会改革の取組について」
議会改革の取組について以下の項目について行った

- ① 議会のあり方調査特別委員会について
- ② 伊勢市高校生議会
- ③ 議会 BCP
- ④ オンライン会議

1. 議会のあり方調査特別委員会について

伊勢市議会における議会改革の方向性と具体的な取り組みを検討するため、「議会のあり方調査特別委員会」を設置した。

主な検討内容

平成 28 年 7 月 13 日以前において、特別委員会は議会改革と議会だより実行の 2 つの委員会であったものを、「議会のあり方調査特別委員会」の 1 つにまとめている。

以前における議会改革特別委員会は各会派 1 名の参加であったが、委員会メンバーとそれ以外の議員との間に、意識や情報の格差が顕著になったため、議長を除く全員参加の委員会を設置した。

	R3. 11 月まで	令和 3. 12 月から
議会のあり方調査特別委員会---	企画調整部会---	条例等検討分科会
	広報検討分科会	→政策等検討分科会
	校長検討分科会	→広報広聴検討分科会
		→議会 ICT 検討分科会

〇まとめ

伊勢市議会では継続した議会改革が行われており、議員同士の意見交換が活発であると感じた。議会のあり方調査特別委員会の取り組みは、十和田市においても喫緊の課題である議会改革の方向性を見出す上で参考となるものである。現状の議会改革でも機能し続けるよう具体的な方策を検討する必要があると感じた。

2. 伊勢市高校生議会

・開催目的

若い世代の政治参加意識の醸成
高校生の市政に対する理解の促進
次世代を担う若者の意見聴取

・実施概要

4 月に市内の高校に参加依頼、6 月 7 月に質問内容・答弁内容の検討・指導を議員が行う、リハーサルや本番まで、行政ではなく議員・議会事務局が行う。

本格的な議会形式での質問

・特徴

高校生の視点で、市政についての疑問点や、要望を行っている
事前に学習のための説明会の実施
本会議形式での本番開催

〇まとめ

高校生議会は、若者の政治参加を促進し、市政への関心を高める取り組みであり、将来の主権者教育の重要な機会となっている。

高校生議会の取り組みは、教育の現状を鋭く問い直す契機となる。また生徒は市議会議員の役を担い質問をして、議員が市職員役となり答弁を行う、議長役も学生が担う形式であった。現在の十和田市では、高校生の政治参加や市政への関心を喚起する取り組みが限定的であり、地域の高校と連携した政治参加プログラムの構築が大切であると考えていても、それを形にする機会が難しいと感じていた。若者の市政参画意識を高めることは、地域の未来を担う人材育成の観点から極めて重要であると考えていたが、経緯を伺ったところ、大規模都市の高校生と違って、行政とかかわれる機会が少ないことを考慮して行ったという流れも勉強になった。

3. 議会 BCP（事業継続計画）

策定の背景

大規模災害時における議会機能の維持
危機管理体制の構築
迅速な災害対応の実現

主な内容

災害時の議員安否確認システム

緊急時の議会運営マニュアル

災害対策本部との連携体制

通信・情報収集手段の確保

・特徴的な取り組み

定期的な防災訓練の実施、心肺蘇生法や AED を使用した普通救命講習の受講

○まとめ

議会 BCP は、有事の際の議会機能継続のための重要な仕組みであり、市民の安全と市政の継続性を確保する重要な取り組み。

議会 BCP の策定は、十和田市議会でも必要だと考えている。具体的かつ実効性のある計画を早急に策定する必要がある。また、定期的な訓練を通じて、実際の有事に備えた実践的な対応能力を高めることが必要だと感じた。形だけを整えるのではなく、使いやすいような柔軟性を持たせた立案からが大切だと感じた。

4. オンライン会議

導入背景

コロナ禍における会議運営の必要性

議会の柔軟性と継続性の確保

感染症対策

実施内容

タブレット端末の配備

セキュアなオンライン会議システムの導入

技術的対応

通信セキュリティの確保

操作研修の実施

システム運用ガイドラインの策定

○まとめ

オンライン会議の導入は、議会運営の柔軟性と継続性を大きく向上させ、with コロナ時代の議会運営モデルを提示している。

オンライン会議の導入は、十和田市議会のデジタル化における遅れを痛感させる。セキュリティを確保しつつ、柔軟で効率的な会議運営モデルを早急に構築すべきである。そのためには、議員の IT 技術習得を支援するとともに、最新のデジタル技術を活用した議会運営の在り方を真剣に検討しなければならない。

総括

伊勢市議会の議会改革の取り組みは、透明性、市民参加、危機管理、そしてデジタル化の観点から、先進的かつ包括的なアプローチを示している。議会 BCP の策定や定期的な防災訓練の実施など、有事の際の議会機能の維持に力を入れている点において、より実践的な視察となった。

伊勢市議会の改革モデルは、十和田市議会が目指すべき改革の青写真として評価しているが、重要なのは単なる模倣ではなく、十和田市の地域特性や行政課題に応じた適応的な改革である。議会の透明性向上、市民参加の促進、危機管理能力の強化、そしてデジタル技術の戦略的活用は、今後の十和田市議会改革の重要な柱となるべきであると感じた。

委員名	中尾 利香
-----	-------

委員会行政視察報告書

委員会名	議会改革特別委員会			
活 動 委 員 名				
中嶋 秀一 委員長		堰野端 展雄 副委員長		山端 博 委員
山田 洋子 委員		太田 正幸 委員		山端 美樹子 委員
中尾 利香 委員		江渡 信貴 委員		
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料等	3 議長交際費	一人当りの費用	
583,906		7,976	73,985	591,882
期 間 (年月日)	令和6年11月5日（火） ～ 令和6年11月7日（木） （2泊3日）			
視察事項	・愛知県一宮市 「議会改革の取り組みについて」			
	・三重県伊勢市 「議会改革の取り組みについて」			
視察先	愛知県一宮市、三重県伊勢市			
内容及び成果				
（愛知県一宮市議会）人口 37 万 7 千人、面積 113.82 ㎢ 愛知県一宮市は、愛知県の北西部に位置する都市で、中核市に指定されています。一宮市は織物の街として全国的に知られています。名古屋までも近くベッドタウンとして都市開発が進められています。 その一宮市議会では、一般質問においてモニターが使用されます。そのモニターは質問や答弁の内容を分かりやすく、視覚的に補う役割を果たしています。議員の説明資料やデータ、グラフ、パネル、本などを投影しモニターに映し出します。議員は分かりやすく説明できます。 一般質問の資料を投影する時は、職員が操作を行いますが、できれば議員が操作できないか検討中です。モニターの使用は、傍聴席や YouTube、ケーブルテレビの視聴者にとっても内容が理解しやすくなります。 課題としては、操作、機器のトラブル、データ量が多いと進行が遅くなることがあげられます。 議会における災害時の対応において、防災計画の策定見直し、特に感染症に対する行動基準制定をしました。オンライン会議システム等の情報通信技術を利用して会議を開催するなどがありました。災害への迅速な対応と被害の最小化に努めています。 （まとめ） 一般質問の時、議員はモニターを利用して資料を見せることができることは、言葉だけでは足りない部分を分かりやすく伝えることができ、理事者、傍聴者、視聴者に理解して頂き大変効果があると思いました。ただ運営側の職員の負担が増えることが考えられます。				

(三重県伊勢市) 人口 12.35 万人、面積 208.4k m²

三重県伊勢市議会では、議会のあり方調査特別委員会、高校生議会、議会 BCP（事業継続計画）やオンライン会議について学習してきました。

議会のあり方調査特別委員会では、現在政策や広報広聴、議会 ICT の検討が行われているとのことです。政策分野としては、予算・決算の審査のあり方も検討されているということであり、

議長と監査委員を除く議員が決算特別委員会の委員となり、分科会方式で決算審査を行っているとのことです。

高校生議会なども積極的に行われていて、若い世代が政治や地域社会に目を向ける良い機会であり、より多くの高校生が市政に参加し影響を与えられる場になる可能性があり、十和田市にも取り入れたいと思います。

議会 BCP については、発動する機会がないに越したことはありませんが、訓練等も行なわれており、全議員が発動に対応できる環境を維持する努力されているようです。

オンライン会議は、十和田市にも是非取り入れたい一つです。インターネット接続環境、技術的トラブル、視覚的コミュニケーション、表情や身振りなどが不足し発言者の意図が伝わりにくいのではないかと思います。これからは必要になってまいります。

私たち十和田市として、議会改革は時間のかかるものも多くありますが、少しでも市民の皆様に親しんでいただければ、市民の皆様のお役に立てる議会となるように尽力したいと思います。

委員名	山端 博
-----	------

委員会行政視察報告書

委員会名	議会改革特別委員会			
活 動 委 員 名				
中嶋 秀一 委員長		堰野端 展雄 副委員長		山端 美樹子 委員
太田 正幸 委員		山田 洋子 委員		中尾 利香 委員
山端 博 委員		江渡 信貴 委員		
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料等	3 議長交際費	一人当りの費用	
583,906		7,976	73,985	591,882
期 間 (年月日)	令和6年11月5日（火） ～ 令和6年11月7日（木） （2泊3日）			
視察事項	・ 愛知県一宮市議会 「議会改革の取組について」			
	・ 三重県伊勢市議会 「議会改革の取組について」			
視察先	愛知県一宮市議会、三重県伊勢市議会			
内容及び成果				
日 時 令和6年11月6日				
場 所 愛知県一宮市				
テーマ 「議会改革の取組について」				
(1)一般質問におけるモニター活用				
議会改革の一環として、平成26年から一般質問でモニターを活用				
・ 議員が資料などを画面に映し、説明に活用している。				
・ 議員の約6割が使用。				
・ 使用する際は事前にチェックを入れ、試写を行う。				
・ 会議録には掲載されない。				
・ 課題として、画面の切り替えを議員自身でできない点が挙げられる。				
(2)会議映像の配信				
議会改革の一環として、平成26年から会議映像の配信を行っている。				
・ 新庁舎完成に伴い、放送設備等を導入したことで配信環境が整った。				
・ インターネットとケーブルテレビで本会議と委員会のライブ中継を配信。				
・ インターネット配信はYouTube を利用し職員が行っているため費用はかからない。ケーブルテレビ配信も費用負担なし。				
・ 課題は、YouTube が今後有料化した場合の対応や、配信時のトラブル対応。				

(3)傍聴環境の整備

「開かれた議会」の実現に向け、聴覚に障害のある方への支援として、以下の取組を行っている。

- ・平成 26 年から軽度難聴者用補聴器の貸出を開始。
- ・令和 6 年 9 月からは、会議内容を音声認識し、リアルタイムにモニターに表示する音声認識システムを導入。
- ・補聴器は平成 26 年の新庁舎建設時に導入したため費用不明。音声認識システムは約 300 万円。

(4)まとめ

一宮市議会では新庁舎建替えの際に、開かれた議会を目指し、議会モニターの設置や配信環境の整備、議場運営システムの導入などを展開している。また傍聴者にも配慮し、補聴器の貸出や音声認識システムの設置にも取り組んでいる。音声認識システムについては今後当議会でも導入に向けて協議していきたい。

日 時 令和 6 年 11 月 6 日

場 所 三重県伊勢市

テーマ 「議会改革の取組について」

(1)議会改革

- ・「議会改革特別委員会」と「議会だより発行委員会」を再編し、「議会のあり方調査特別委員会」を設置（議長を除く全議員で構成）。
- ・全体会の下に「政策等検討分科会」、「広報広聴検討分科会」、「議会 ICT 検討分科会」の 3 つの分科会を設置。分科会間の調整を行う「企画調整部会」も設置。
- ・これらの活動を通じて、「議会基本条例」、「議員政治倫理条例」、「伊勢市議会政策立案及び政策提言実施要綱」、「議会 BCP」を制定。

(2)議会 BCP（業務継続計画）

- ・「伊勢市議会大規模災害対応基本方針」を踏まえ、令和元年 10 月に「伊勢市議会業務継続計画（議会 BCP）」を制定。
- ・想定災害、対象期間、市議会災害対策会議、職務代行、情報伝達、防災訓練、職場代替施設、継続的改善などを規定。
- ・発災時の市と議会の連携・情報共有を重視。
- ・策定後、防災訓練（非常参集、安否確認）を実施。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大時には BCP に基づき「新型コロナウイルス 対策会議」を設置。

(3)まとめ

伊勢市議会では、議長以外で構成される「議会のあり方調査特別委員会」において、時代に即した分科会を設けながら、議会のあり方についての見直しを行っている。近年、議員や会派個別ではなく、「議会」としての活動も重視されている中、「議員」ではなく「議会」としての政策立案及び政策提言に向けた協議の経過については参考となるものであった。

一宮市議会、議会改革の取り組みについて

議会改革特別委員会 江渡 信貴

● 一般質問におけるモニターの活用について。

①経緯。

平成26年新庁舎完成にあわせてスクリーンと議会運営システムを導入。同年6月定例会より使用開始。

②活用状況。

一般質問を行う議員のうち6割の方々が使用。

③議会運営上の手順は。

一般質問の際にモニターに資料等の投影を希望する場合は、通告表のPC使用欄にチェックを入れ提出。その後、一般質問の前に資料の写り方や内容チェックの試写を実施。この時、資料や写真等の著作権や肖像権の許可についてもチェック。一般質問時の次の資料を投影する等の操作は議員自身で行う。

モニターに投影する資料等は会議録には掲載しない。

④課題と今後の問題は。

モニターには、通常会議の様子が投影されており、一般質問の際に資料や写真等を投影する際の画面選択は、議会スタジオ内で職員が行っている。しかし、そのタイミングは一般質問を行っている議員に口頭で毎回言ってもらっている。これを議員自らの操作で画面選択ができないか検討中。

● 議会における災害等への対応について。

①概要は

市内において大規模な自然災害や人的災害等不足の事態、重大で広範囲にわたる感染症が発生したときに、議会や議員の行動基準を定めるもの。

②課題と今後の展開。

災害時において自身の安否等の連絡方法や災害対策会議の場所等、今後詰めていく必要がある。

● 会議映像の配信について。

①概要は

・インターネットでの本会議ライブ中継を開始（H26年

6月)

- ・ケーブルテレビによる本会議ライブ中継を開始（H26年12月）＊費用はなし。ケーブルテレビ事業者の番組が空いた時間を使用）

- ・インターネットでの委員会ライブ中継を開始（H30年3月）

②費用は。

年間保守委託料として 2,475,000 円

③課題と今後の展開はインターネットでのライブ中継について、現時点ではユーチューブの利用料は無料だが、今後、利用料が発生した場合の対応や配信作業を職員で行っているため、機器トラブルが発生したときの対応が課題である。

●膨張環境整備について

①概要は。

- ・H26年新庁舎建設にあわせて軽度難聴者用補聴器の貸し出しを開始
- ・会議内容を音声認識しリアルにモニターに表示する音声

認識システムを導入（R6 年 9 月）

②費用は。

音声認識システムについては、配線工事及びモニター等の備品購入費で合わせて 300 万円

十和田市議会では「十和田市ひらかれた議会づくり基本条例第 1 章だい 1 条に、ひらかれた議会づくりの推進に関する事項を定める」とあります。常任委員会のライブ中継・軽度難聴者用補聴器の貸し出し。音声認識システムの導入など検討すべきだと十和田市議会改革特別委員会で発言していこうと思います。

伊勢市議会、議会改革の取り組みについて

議会改革特別委員会 江渡 信貴

●議会改革の取り組みについて。高校生議会。

平成 28 年 7 月 13 日に議長を除く議員全議員で「議会あり方調査特別委員会」を立ち上げた。令和 3 年 12 月より特別委員会の中に政策等検討分科会・広報広聴検討分科会・議会 ICT 検討分科会を設置。広報広聴検討分科会の取り組みの中に高校生議会がある。高校生が議員役となり伊勢市における疑問点や、これからの伊勢市に臨むことを高校生の視点で質問を行う。市議会議員は、市職員役を担い、質問に対する答弁者となる。議長役については参加生徒から希望者を募り決定する。質問は 1 グループ 1 問とし、質問・答弁を含め 10 分以内、時間内であれば再質問もできる。添付資料としてパネルも使える。終了後にアンケート調査をしたところ良好な回答が多かった。

●議会 BCP について。

「BCP とは災害などの緊急事態が発生したときに、損害を

最小限に抑え、業務の継続や復旧を図るための計画のこと」災害時における議会の役割として、議会は、大規模災害等が発生したときにあっては、本来的な役割とは別に災害対策本部と連携し、被災者の救援及び市の災害復旧のために非常の事態に即応した役割を果たすこと。議会の機能を停止することなく、議会運営を行うことが求められています。策定により定期的に防災訓練を実施することになった（令和4年は2度実施）また、令和2年2月29日議会BCPに基づき「新型コロナウイルス対策会議」を設置した。3年間で約34回の会議を開催。各種団体の現状把握を行い、団体・市民の声を市政へ反映させるため意見聴取会を開催。

●オンライン会議について。

オンライン会議の接続テストを実施。令和5年2月に委員会・協議会それぞれ1回実施。オンライン会議に想定される事態は感染症で聴衆招集場所への参集が困難な場合。対象となる会議は議会運営委員会・常任委員会・特別委員会・常任委員協議会（全員協議会を除く）令和5年2月8日1名の委員からオンラインでの参加の申し出があったため、総務政

策委員会・同協議会をオンラインで実施。十和田市議会の議会特別委員会ではオンライン会議推進の話が出ている。伊勢市の事例は今後大いに役立つと感じました。